

第1部 計画策定の意義と計画の性格

1 策定の意義

○広域地方計画策定の背景と目的を以下の観点を盛り込みながら記載する

2 計画期間

○本計画の計画期間を明記する

3 計画の性格

○本計画に盛り込むべき内容や、策定後の活用のあり方を以下の観点を盛り込みながら記載する

第2部 四国圏の発展に向けた基本方針

第1章 四国圏を取り巻く状況

1-1. 社会潮流

- ①人口減少・高齢化の急速な進行
- ②災害・環境問題等の安全に対するリスク・不安の増大
- ③高度な産業技術化・情報化の進展
- ④産業・雇用構造の変化と地域間競争の激化
- ⑤広域交流の拡大・グローバル化の進展
- ⑥価値観・ライフスタイルの多様化と心の豊かさの重視
- ⑦「新たな公」の役割の重視

1-2. 四国圏の特徴

- | | |
|---|--|
| <p>(強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①美しい自然風景、独自の歴史・文化の存在 ②多様な地域の存在と相互の地理的な近さ・交流の可能性 ③確かな力ある産業の存在 ④個性のある一次産業、食等の存在 ⑤人材育成活動の活発化 | <p>(弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥厳しい地勢・自然条件 ⑦産業集積・企業集積の不十分さ ⑧社会経済面・生活利便性面の格差とインフラ整備の遅れ ⑨四国圏内外との連携・交流の弱さ ⑩人口減少による国土の荒廃・喪失 |
|---|--|

1-3. 四国圏の課題

人口減少・高齢化が全国平均より早く進行する中での圏域の発展

・全国より約10年早い高齢化の進行 ・多様化する価値観・ライフスタイルに応じた地域の魅力の不十分さ

<p>① 災害や環境に対する安全・安心の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東南海・南海地震による甚大な被害想定 ・土砂災害等の危険性の高さ ・濁水被害の頻発 ・自然環境の喪失の進行 	<p>② 外部環境変化に対応した産業活性化の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業活性化に向けた連携や基盤の充実・活用の不十分さ ・既存の産業集積や地域資源の活用不足 	<p>③ 豊富な地域資源の活用と魅力の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな地域資源の認知度の低さ ・日本の原風景の保全と継承に対する懸念の拡大 	<p>④ 圏域内外における結びつきの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通ネットワーク基盤の整備や他圏域とのアクセス性の弱さ ・圏域内の交流の弱さ 	<p>⑤ 中山間地域、半島及び島しょ部等の活性化と都市における活力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的条件的に厳しい集落が多数存在 ・耕作放棄地の増加などの国土荒廃の懸念 ・一次産業の低迷 ・中心市街地の空洞化
--	---	---	---	--

第2章 四国圏の将来像

2-1. 基本方針

地域の強みを活かし、圏域全体の連携によって自立的に発展する「癒やしと輝きのくに」四国の創造

- (基本方針の考え方)
- ・他圏域や東アジアとの交流を支える環境づくり
 - ・地域のことは主体的に自分たちで取り組むという考えに基づく、独自性、個性を活かした地域づくり
 - ・こうした地域づくりを進めるため、「担い手となる人材の育成」「地域資源の活用」「『新たな公』の構築」が必要
 - ・さらに、圏域内の多様な地域が適切な役割分担を図り戦略的に連携することにより新しい四国圏の価値を創出
 - ・全国、世界との交流連携を深めることにより、さらなる活力を創出

これらの取組みを通じて、多様な地域の個性を発揮しつつ、四国圏としての一体的・自立的発展を目指す

2-2. 四国圏の発展に向けた目標

<p>① 安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国</p> <p>～心穏やかに暮らせるやすらぎの実現～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い地域をつくる ・自然・地球環境との調和を高める ・地域の暮らしの快適性を高める 	<p>② 地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国</p> <p>～グローバル化を生き抜く産業群の形成～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶え間ないイノベーションにより世界に通用する産業を育てる ・多元的成長力を持つ産業集積を高める 	<p>③ 歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国</p> <p>～おもてなしの心あふれた癒やしの実現～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい風土を形成し地域の魅力を高める ・歴史・文化的資源を継承し地域の独自性を発揮する 	<p>④ 東アジアをはじめ、広域的に交流を深める四国</p> <p>～進取の息吹きを与える交流の創出～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジア・世界との交流を活性化 ・環瀬戸内圏や全国との交流を活性化 ・圏域内の交流を活性化 	<p>⑤ 中山間地域・半島部・島しょ部や都市が補完しあい活力あふれる四国</p> <p>～農山漁村と都市の共生～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村(中山間地域等)の暮らしと環境を支える ・都市の魅力・快適性を高める
---	--	---	--	---

第3部 四国圏の発展に向けた戦略的取組

第4部 広域プロジェクト(仮称)

第5部 計画の推進にむけて